

## 提案についての質疑と応答

- 県の基本方針はいつはっきりするのか？  
→ 今年度中に骨格は決まるが、公園をつくりながらの対応となっていく。成長する公園にしたい
- 松茂町民にいつ知らせてくれるのか？ ニュースレターを分かりやすい所へ設置する必要があると思うが  
→ 今後、広く分かりやすい情報提供の方法を、更に検討していきたい
- 松茂町民に広く提示すると問題になり得ることもあると思うが、どう対処するのか？  
→ 心配されていることを出していただき、それについては、後日あらためて検討したい  
→ 必要であれば、県と調整して話をする場も設けたい
- 都市公園法の中で定められた運営か、それとも自由運営が可能か？  
→ 基本的には都市公園法の中となるが、運営母体が決まらない状態では今は分からない
- 管理棟の規模は？  
→ 管理体制により規模が決まるので、それに応じた規模を設定する
- 現実問題として、災害時の安全は保たれるのか？ 車両等の安全性について確保できるのか？  
→ 人工バリアリーフで一度波を受ける形にしている  
→ 別途安全性の検討を行っている  
→ 災害時（台風等）の対策として、植林や正式なネットの設置を考えている  
→ 防犯については巡回監視できるようにしている  
→ 今後いっそう万全の体制を組んでいく
- 塩害・砂害についても考慮してほしい  
→ 人工海浜側で防風処理をしている  
→ 砂を止める防砂（風）林を計画している
- 進入路（県道から公園まで）についてはどうするのか？  
→ 管理道に向かって高くなっているところと、トンネルでぬけて公園へのアクセスを検討中である

※その他、公園周辺の施設等についても、さまざまな質疑がありました

今回の提案について参加者のみなさんから質疑をいただき、それに対して設計者等が応答しました



参加者のみなさんにこれからどのようにこの公園に関わってもらえるか、提案してもらいました



## 海浜公園のこれからの意見

- 運営への参加（イベントづくり・グループ利用など）  
企画運営、ボランティア活動を通じたイベントの企画、フリーマーケット、リサイクルショップ、利用のための企画を支援（手伝い）、クラフト作家等による手作り、日曜日、フリーマーケット、スカイフェスタ、いろんな遊びを考えるイベントづくり、地域を巻き込んだイベント、スポーツイベント、フットサル大会、キャンプ場、イベント時における出店、今後時間の許す限りりどんな活動にも
- 公園整備への参加（森づくり、花壇づくり、陶板づくりなど）  
安全な施策の推進、植林、剪定、花を植え育てるボランティアとして、森づくり自然の遊びに参加、植樹および維持管理を小学生（住民）と一緒にするイベント
- 維持管理への参加（ボランティア、アドプトなど）  
ベンチ、あずま舎のメンテをボランティアの方と一緒に、維持管理面でのボランティア活動、清掃作業、持続性のある維持管理、自治会単位で効率よく、スポーツ（遊び）指導ボランティアなど、ボランティアルームを利用して参加、パンガロー、ツリーハウス作り、そのメンテナンスも子供達と共に
- みんなにこの計画を知ってもらうために  
ミニFM局を開設、つくる会の仲間を増やす、シンポジウムを開く、地元や今回の参加者も加えて協議できる場、松茂町から住民に呼びかけ大会を開く、町や県の広報紙に紹介と複数回の意見交流会、PR活動、松茂町の行政主導による啓発、自治会において通知徹底、長原、豊岡地区の集会所とかで説明会を、松茂町の人と公園づくりについて話し合う場を考える

## お問い合わせ

ワークショップについてのお問い合わせはこちらへどうぞ

特定非営利活動法人 コモンズ

tel: 088-652-7666 (担当: 笠井)

株式会社 ブレック研究所 tel: 06-6541-6161 (担当: 玉井)

## ニュースレター VOL.7

## 月見ヶ丘海浜公園ワークショップ 2004

設計と運営をみんなで考えよう!

- このニュースは、月見ヶ丘海浜公園ワークショップ2004の内容をお伝えするものです
- 検討されたこと、参加されたみなさんの声、次回の予定などを毎回お届けします

## 報告会・レポート

- とき 平成16年12月5日（日）午後1時30分～午後4時30分
- ところ 松茂町商工会館 2階会議室

### ステップ 1 はじめに

今日のワークショップの目標とプログラム内容について説明しました

### ステップ 2 前回のワークショップの成果を振り返ろう!

前回のワークショップ成果の概要を説明しました

### ステップ 3 前回成果に対する設計者の考え方を聞こう!

前回のワークショップ成果に対する対応について聞きました  
修正されたプランや空間構成イメージについて説明しました

### ステップ 4 公園づくりのテーマに沿った公園利用ツアーを行います!

基本設計ガイドラインでの「公園づくりのテーマ」をもう一度確認しました  
テーマごとに公園を利用する立場になって、プランや空間構成イメージを確認しました  
プランや空間構成イメージの説明に対する質問に回答しました

### ステップ 5 2年間のワークショップ振り返りツアーを行います!

昨年開催されたワークショップの内容とポイントを整理した掲示ボードを示しました  
重要なポイントでは、ワークショップ運営担当者がその時の様子を説明しました  
参加者がまとめたプランや空間イメージと空間パターンとの関係について説明しました  
今後のプロセスボードでは、できた案がどのようにして実施案になるか説明しました

### ステップ 6 みんなができる公園づくりへの参加を考えよう!

自分たちが無理なくできる公園づくりへの活動について、ポストイットに記入して模造紙に貼りました  
模造紙の内容を整理し、今後の活動イメージを合意しました

### ステップ 7 おわりに!

徳島県からワークショップ参加者にお礼の挨拶がありました

今回は最終報告会はこれまでの振り返りと今後を考えました



みなさん長い間で協力いただきありがとうございました

